

「ジブリパーク構想地域連携協議会」について

1 設立趣旨

本県では、愛知万博の理念を次世代へ継承し、愛・地球博記念公園の魅力と価値を一層高めるため、同公園内に、スタジオジブリ作品の世界観を表現するジブリパークを整備することとしております。

ジブリパークは、2022年秋の開業を目標としており、本県で開催される「2026年アジア競技大会」、2027年のリニア中央新幹線開業とも相まって、国内外から多くの人々が公園周辺地域を訪れることが想定されます。

公園周辺地域には、愛知県立大学、愛知県立芸術大学を始め数多くの大学や「知の拠点あいち」など学術・研究開発機関が集積し、進取の精神に富む一方、大都市近郊で緑も多く、若い世代の居住も進んでおり、本県をリードするポテンシャルは十分高いものがあります。

このため、ジブリパークを核に、愛・地球博記念公園周辺の自治体及び鉄道事業者が一体的・有機的な連携を図り、地域活性化に向け協力関係を構築することが重要であります。

こうしたことから、本県といたしましては、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市、愛知環状鉄道株式会社、愛知高速交通株式会社と連携し、地域活性化を図る諸方策を検討・協議、実践する「ジブリパーク構想地域連携協議会」を設立するものです。

同協議会が主体となり、周辺自治体が協力して、ジブリパーク開業の機会を活かし、新たな産業や賑わいの創出、多様な人材の育成、キラコンテンツを活かした観光戦略など、地域活性化につながる様々な施策を展開してまいります。

2 構成等

(1) 構成団体

愛知県、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市
愛知環状鉄道株式会社、愛知高速交通株式会社

(2) 組織体制

協議会の下に、業務を円滑に実施するための調整機関として、課長クラスで構成する運営会議を設置

※ 事務局は愛知県政策企画局ジブリパーク推進課に設置

3 所掌事務

- (1) ジブリパークを活かした周辺地域の魅力向上・活性化や、集客に向けた国内外への魅力発信に関すること
- (2) ジブリパークへの玄関口となる藤が丘駅等のまちづくりや賑わい創出に関すること
- (3) ジブリパークの交通アクセスに係る総合的な調整に関すること
- (4) ジブリパークに係る自治体始め各種団体との連絡調整
- (5) その他協議会の目的達成に必要な事項に関すること